



岡山県原水協通信

2015年7月21日 No346
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

早島 副町長、議長が行進の先頭に

平和行進岡山県6日目の7月21日は早島町から倉敷市役所のコースです。午前9時から早島町役場玄関前でおこなわれた出発集会には60人あまりが参加しました。

激励挨拶に立った早島町の三宅副町長は「戦後70年、過去の忌まわしい記憶を思い起こすような政治状況を迎えている。自公政権に危機感を持っている。再び日本は軍需産業が経済を支える国になろうとしている。何とか食い止めないと。小さな力を集めて危険な流れを変えよう」と訴えられました。小池議長は「1958年に始まった平和行進。半世紀が過ぎた。この継続した平和への思い、願いの運動に敬意を表する。核兵器廃絶まで頑張してほしい」と訴えられました。



副町長・議長を先頭に出発 7/21早島町



三宅副町長(左から2人目)小池議長(右端)からペンントを受け取りました。 7/21 早島町役場前

児島・網の目行進に70人

7月20日、倉敷市・児島で網の目平和行進がとりくまれました。この行進には倉敷医療生協、倉敷市職労児島支部、年金者組合、新婦人、人権連、共産党などから70人が参加しました。

この参加者数はこれまでにないものです。「安倍政権が戦争法案を強行採決するなど危険な動きの中で『安倍政権を許さない』などのプラカードを掲げて参加する人も多く、政治的高まりが反映したものだ」と担当者は話していました。



日本青年の平和の熱い思いに感動

国際青年リレーで参加しているメアリー・ポピオさんは行進6日間を体験し「日本の青年の核兵器はいらぬという熱い平和の思いに感動している。この経験をアメリカに帰ってしっかり伝えていきたい」と挨拶しました。(写真左はこの日の通訳・内藤啓子さん)